

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中央消防署移転改築工事	階数	地上6F
建設地	福岡県福岡市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	68 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年10月 予定	評価の実施日	2016年10月11日
敷地面積	4,700 m ²	作成者	福永設計事務所
建築面積	2,314 m ²	確認日	
延床面積	5,072 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

477.7 Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	0
Q1 室内環境 用途により広い事務所に光が届くように建築的配慮。	Q3 室外環境(敷地内) 消防署という用途にて、訓練施設を充実させている。24時間体制で任務される人の気配と共に周囲への安心感を与える。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR3 敷地外環境 低騒音やCO ₂ 排出を抑えた工法など環境に配慮した計画を行う。
Q2 サービス性能 各階では高い天井空間を提供。広スパンのRC造だが3階に抑えている。	LR2 資源・マテリアル 節水型の機器を極力使用する。有害物質を含まない材料の使用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される